

SHIKOU ITO & HIKARU IWAKAWA
「TUPANANCHISKAMA」
ALBUM RELEASE JAPAN TOUR 2020

伊藤志宏
piano

岩川光
quena

2020 01月08日(水)

開場 19:00 時間がイレギュラーです。

開演 19:30~

(2ステージ入替なし 途中入場可) (1drink=600円~)

予約 4000 円+2drinks order

当日 4500 円+2drinks order

CAFE BEULMANS

03-3484-0047

info.cafebeulmans@gmail.com

東京都世田谷区成城6-16-5-2F

メールでのご予約の場合、
必ず当日ご連絡がとれる電話番号を
ご記載ください。



伊藤志宏

ピアニスト、ボタンアコーディオニスト、作曲家、アレンジャー、プロデューサー五歳の頃より祖父の岸川基彦にクラシックピアノを師事する。14歳のとき東京交響楽団とベートーベンピアノコンチェルト三番を共演好評を博す。慶応義塾経済学部入学後セロニアスモンクのソロピアノのCDを聞いて「ジャズもいいかも」と思い独学で始め音楽理論も同時に一人で学ぶ。23歳くらいからいつの間にかライブを始めるようになりプロ活動を開始特にドラム、ベースのいない変則形態における演奏には定評がある。今現在、ソロピアノ、ピアノトリオ、多様な編成での独自の活動を模索中。また沢山の歌手から伴奏者、アレンジャーとして信頼を寄せられる。

<リーダー作>

2012年10月、自身の初リーダー、プロデュース作品「ladies & piano man」を発表、ウィリアムス浩子、島山美由紀、青木カレン、一青窈、たなかかなど10人のボーカルを集め、ジャズスタンダードを独自の解釈で表現。2014年、「ヴィジオネール」と3 cello varistion「タペストリア」をリリース。

2018年、3 cello varistion 2nd album「NOCTIODRIA」をリリース。

岩川光

独自の革新的な演奏技術で「ケーナの革命者」と呼ばれるケーナ奏者であり、音楽の原始に近づくような音作りや、複雑でありながらダイレクトに琴線に触れる楽曲に定評のある作曲家。マルチインストルメント奏者。9歳よりケーナを始め、リコーダー、音楽理論や作曲法も同時期から学ぶ。後にボリビアなどで研鑽を積む。各国の様々な音楽祭への出演やツアー公演を通じ高い評価を得る。13年よりブエノスアイレスに活動拠点を置き、ディノ・サルーン、ハイメ・トーレス、ファン・ファルーら世界的巨匠たちとも共演を重ね、惜しめない賞賛を受ける。現在はソロ、キケ・シネシとのデュオ、自身のトリオ(佐藤芳明、林正樹)、音楽考古学者エステバン・バルディビアとのデュオ等を軸に、複数のプロジェクトを、日本とアルゼンチンを中心に、ワールドワイドに展開。『deseo』(キケ・シネシとの共作)、『primero』『SEGUNDO』(岩川トリオ)、『amalgama』(セルカン・イルマスとの共作)、『SOLO』『J. S. BACH / 3 SUITES』など多様な録音作品を多数発表し続けている。